

『さあ、天を見上げなさい。星を数えることができるなら、それを数えなさい。』さらに仰せられた。『あなたの子孫はこのようになる』(旧約聖書 創世記 15 章 5 節)

少し秋らしくなった香港ですが、今月も皆様に神様の祝福がありますように

I ユダヤの結婚式

この聖書の箇所はユダヤ人の祖先アブラハムへの神様の約束の言です。現代もユダヤ人の結婚式は満天の星の下でなされるのが最高と言われているそうです。また、彼らはグラスを靴で砕き、結婚には祝福と共に困難があることを現しているそうです。

II 天を見上げる

天を見上げて祝福を信じ、地ではグラスを砕く、これはユダヤ人の信仰を良く表しているように思います。そうです、地上には困難がつきものですが、天を見上げる時には希望があるのです。地上の歩みが行き詰まった時、私たちキリスト者も天を見上げます。神様の祝福の約束を信じるのです。人生が八方ふさがりでも天が開かれており、天に希望があるのです。

III 土地・子孫・祝福の源

神様のアブラハムへの約束は土地・子孫・祝福の源になることでした。しかし彼の生涯ではその一部しか実現しませんでした。実は神様の祝福の約束が文字通り実現したのは、アブラハムの子孫と言われたイエス・キリストの誕生と教え、十字架と復活を待たねばならなかったのです。イエス様は神様の約束の中でも時に「祝福の基となる」と言われた言を実現されたのでした。

空の星は、神様の祝福の約束を思い出させます。しかし、私たちは十字架を通して、神様の永遠の愛を確認するのです。ユダヤ人の結婚式でパフォーマンスするように私たちの人生には苦難があり、祝福があります。けれども困難に支配されるか、困難の中で祝福を体験し、困難・環境・状況に支配されずに生きられるかは私たちが顔を上げ、イエス様の十字架を見上げて生きているか否かによるのです。イエス様の十字架は命がけの愛と永遠の愛のシンボルだからです。ここに真実の愛があるのです。

私たちの人生がキリストの十字架の愛により、状況に支配されず、祝福を受けていくものなら、必ず周囲にも良い影響を与えていきます。子どもは母親が悲しがっていることと、夫婦が対立していることに予想以上に悪影響を受けるものです。逆もまた真なのです。ここに子育ての基礎があります。

皆様がイエス様の愛を受けて、困難に打ち勝ち、祝福を信じるなら、その祝福は周囲に及びます。あなたが祝福の基になるのです。もしあなたが不信仰と不安に捕らわれ、災いを信じるなら周囲に災いが拡大されていくのです。神様はあなたが祝福の基となることを願ってイエス様の愛を示されたのです。そのために主の十字架に愛と祝福があるのです。アブラハムへの聖書の言、それはあなたのためのものでもあるのです。